



大崎市学校教育 ICT 活用推進 コンソーシアム協定に調印しました

SSH 事業2期3年目がスタートを切りました。まだまだ制約を余儀なくされる中での活動になりますが、SSH 事業を通して、古川黎明の生徒一人一人の探究力の育成と、大崎地域全体が潤うことを目指して、今年度も着実に進んでいきます。

5月17日に大崎市教育委員会と「大崎市学校教育 ICT 活用推進コンソーシアム協定」に調印しました。国による大崎市立小中学校・古川黎明中の GIGA スクールが元年を迎え進行中であることから、また、本校生徒の活動の場を広げるために地元の大崎市と協力体制をコンソーシアム設立という形でとらせていただけたこととなりました。



*コンソーシアム(consortium)・・・「共同事業体」という意味を持ちます。SSH 事業によって古川黎明だけでなく、大崎地域全体が潤うことを目指します。

キャッチフレーズ 僕らで描け！新たな1ページ！ ～未来の黎明設計図～

昨年、古川高等女学校創立から数えて100周年を迎え、今年度のキャッチフレーズは2年B組の大友菜結さんが提案した「僕らで描け！新たな1ページ！～未来の黎明設計図～」に決定していました。このキャッチフレーズにした理由は「100周年を迎え、新しい歴史へのとびらが開きました。私たちの手でその歴史を受け継ぎ、そしてまた新しい101ページ目を作ろうと思ったからです。」ということでした。

このすばらしいキャッチフレーズのもと、未来の黎明の土台となるように諸活動に励んでほしいと思います。



ロボカップジュニア日本大会2021

4月10日(土)ロボカップジュニア日本大会2021 オンラインで開催され、自然科学部のロボ班が、サッカーライトウェイト、サッカービギナーズ、レスキューメイズに3チーム参加し、サッカービギナーズの部でチーム「NSCREIMEIβ」が「敢闘賞」を受賞しました。仙台ノード、東北ブロック大会を通過し、初のオンラインでの全国大会となりましたが、貴重な経験となりました。



大会結果HP



高校1・2・3年 SS 探究の授業が始まる

高校1年 SS 探究 I

4月13日(火)高校1年生のSS探究Iが始まりました。探究の時間を通して課題設定力、論理的・批判的思考力、コミュニケーション力、情報活用能力を育成していきます。ガイダンスの後は、自己分析をねらいとしたマインドマップの作成をしました。『学びの技』を参考に、各自集中しながら取り組んでいました。希望にあふれた1年生ならではの興味・関心をこれからの探究活動につなげていけるよう、生徒教員とも楽しみながら活動していきます。

5月の探究は、3週連続でサイエンスコンテスト「ペーパードロップ」に取り組みました。

「1枚の紙を、できるだけゆっくりと、狙った場所に落ちるように加工する」が、各班に与えられたミッションです。「ゆっくり」と「狙った場所」の両立は容易ではなく、生徒達はあれやこれやと相談しながら試作を重ねていました。

今後は論理的思考力トレーニングなどを実施しながら、大崎耕土を題材とした課題研究実践に取り組んでいきます。



ガイダンス



マインドマップ作成

ペーパードロップコンテスト
学年全体でグループワーク

ペーパードロップ

高校2年 SS 探究Ⅱ

SS 探究Ⅰでの学びを生かして、2年生では各自の興味や関心をベースにした課題研究を1年間かけて実施します。大崎耕土をテーマとしたこれまでの自分の研究をさらに深めるもの、SDGs との関わりをテーマとしたもの、理数分野をテーマとしたもの、心理学などの理数分野以外のテーマなど、様々な課題研究に取り組んで行く予定です。

高校2年 アドバンスコース

4月14日(水)に、高校2年理系アドバンスコースの開講式を実施しました。今年度の2年生はアドバンスコース2期生となります。39名の意欲に満ちた生徒が集まり、2期生がスタートします。

開講式では、校長より、「本校のSSHの目標は、探究力を備えたイノベーションリーダーの育成であるが、「リーダー」とは何だろう？今一度、考えてみてほしい。また、アドバンス生は、より高度な課題研究に取り組んでいくことが期待されるが、ぜひ自分たちの研究が誰かの役に立つ、という方向性で探究してほしい。」と激励の言葉をいただきました。参加生徒1人1人の真剣なまなざしから、今後に向けての強い意志が伝わってきました。まもなくSS 探究Ⅱで、課題研究が本格的にスタートします。各種発表会や黎明サイエンスフェスティバルを目標に研究テーマを設定し、深めていきたいと思えます。



高校3年 SS 探究Ⅲ

今年度から始まる「SS 探究Ⅲ」の授業では、グループ毎に論文を作成しています。

昨年度のSS 探究Ⅱではグループ毎に課題研究を行い、2月に開催された黎明サイエンスフェスティバルでポスターやスライド動画を用いて発表しました。その発表内容をGoogle classroomやGoogleドキュメントなどのアプリを活用して、論文形式にまとめています。

これまで本校ではロイロノートを活用して授業を行ったり、課題を出したりしてきました。Googleのアプリを使うことで一斉に共同作業することができ、使いこなすことができれば作業効率が上がると期待しています。現在は、新しいものを使うということで不慣れなところも

ありますが、頑張っ
て使いこなそうと前向きな姿勢を見せる生徒も見受け



られます。

SS 探究Ⅲの授業では、ただ論文を作成して終わりということではなく、「探究」という言葉にふさわしい活動を今後も展開していきます。

JpGU 日本地球惑星科学連合 高校生によるポスター発表

6月6日(日)にオンラインで開催された、JpGU 高校生によるポスター発表に自然科学部が参加し、「現地調査に基づく地熱発電利用の現状と課題へのアプローチ」、「流星の分光観測による発光メカニズムの研究」の2つのグループがオンラインポスター発表を行いました。

当日のオンラインポスターコアタイム 13:45~14:15 は、Zoomのブレイクアウトルーム単位での発表となり、多くの方々に向けて発表を行うことができました。今後の研究の参考になる、たくさんのアドバイスや質問をいただきました。



SSH 指定校合同研究発表会

6月27日(日)に仙台市一番町アーケード街においてSSH指定校合同研究発表会が行われました。

宮城県で初となる本研究発表会は尚絅学院大学主催のSDGs マルシェの一環であり、県内SSH指定校のみならず様々な学校や団体が参加していました。

また、アーケード街での発表ということもあり、一般の方々も聴衆として参加し、これまでの研究発表会とは雰囲気が異なる新鮮なものでした。

参加した高校1・2年生は、いただいたアドバイスをもとに今後のSS 探究の時間で更に研究が深まることが期待できます。



第1回！おおさき小中学生自由研究チャレンジ

SSH 宮城県尚絅学院大学・高等学校SSH事業 令和3年度
第1回おおさき小中学生自由研究チャレンジ
対象 大崎地域および近隣の小学校3年生～中学校3年生
対象期間 9/1(水)～9/14(火) 申し込み 7/22(木)～7/26(月)
なぜ？を形にしよう！ 気軽に相談に来てね！
参加費 参加費なし 生徒の保護者が宮城県尚絅学院大学・高等学校のWEBページにアクセスして必要事項を入力
詳細は専用ページ <https://frame-i-h.miyosawa.ed.jp/challenge>
小中学生の自由研究の発表の場として企画されています。
主催 尚絅学院大学・高等学校 共催 大崎地域近隣市町村教育委員会 後援 尚絅学院大学

SSH事業の地域への成果還元の一環として、小中学生の皆さんの自由研究や探究学習を発表する機会を、古川黎明が主催します。小中学生が応募する事業ですが、相談会や応募作品へのコメント、自分たちの研究発表などで黎明生も関わりながら、異年齢間の協働的な学びの活性化を図ります。詳細は本校

ホームページをご覧ください。小中学生の作品応募期間は9月1日～14日、交流会(パレットおおさき)は10月31日です。